

WEEKLY REPORT

Rotary



Sabae Rotary Club

RI第2650地区 2016-2017年度 鯖江ロータリークラブ



国際ロータリーのテーマ

人類に奉仕する
ロータリー

RI第2650地区のスローガン

夢を語り、現在を刷新
Review From the future and Renew



鯖江ロータリークラブ会長方針
老壮青 今、日々を大切に
「感謝で繋ぐ」その為に...

会長 田村 康夫

第2806回
6/16(金)

6月第3例会

点鐘:12:30

テーマ「日本遺産、日本六古窯、越前焼」
越前焼工業協同組合 事務局長
卓話 橋本 直視 様

第2807回
6/23(金)

6月第4例会

点鐘:12:30

テーマ「越前和紙について」
福井県和紙工業協同組合 理事長
卓話 石川 浩 様

第2808回
6/30(金)

最終例会

会場:芦原温泉「べにや」

4つのテスト

出席率65.6%

6/16(金)
第2806回
例会報告

鯖江商工会議所 3階中ホール

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

開 会 点 鐘
四 つ の テ ス ト
ロ - タ リ - ソ ン グ
好意と友情の握手タイム
会 長 の 時 間 等
閉 会 点 鐘

ロータリーソング



「我等の生業」
桑原 重之
副ソングリーダー

好意と友情の握手タイム



ゲスト&ビジターの紹介と会長の時間



田村 康夫 会長
本日の卓話者は、
越前焼工業協同組合
事務局長 橋本 直視
様。テーマは「日本遺
産、日本六古窯、越前焼」。

14日、AM7時に出て沖縄へ、昼1:45
~5まで沖縄 南西航空混成団、第9航空
団(川波司令)の304飛行隊長 大久保
雄史(2等空佐、BEAT ビート)を訪ね、激
励と共に、近隣諸国情勢、航空防衛装備
等々 勉強させて頂いた。今回は、FBC 取
材班2名も同行にて、県議8名含め10
名での視察。現在、航空戦闘機の第4世
代と言われる、F15(マッハ2.5)を操り、隊
員を率いる 大久保隊長は 福井県の誇り
で、トップガンの世界を垣間見た。近い将
来日本の航空のみならず、日本の自衛隊
を引っ張る立場に成られる事を確信し
た。更なる安全・無事と 活躍を心よりお
祈りする。トンボ帰りにて、次の日PM1:30
には 小松空港、そこだけ 残念。昨晩は 川
波司令、大久保隊長 始め4名の隊員との
大変有意義な懇談もあった。私は 10:30
頃失礼したが、12時過ぎまで付き合い、
次の朝6時から訓練に入っているとの事。

「クラブ定款・細則・内規の修正について」

定足数確認：例会は総数の3分の1以上が参加、内規による定足数を満たす。また、本日の14日前の6月2日に各会員に、この件を書面で通知。よって、本例会にて改正案を審議する会則上の要件は満たしている。

主な変更点：会計を理事に加える・会員組織・例会予定日が祝日の場合・他
採決：全員挙手にて、本案は可決された。

委員会報告



川手 博明 副幹事

次年度の運営から
4点、インフォメーションする。

- ①6月23日ラポーゼかわだにおいて、理事役員の間懇談会を開催する。該当する方には案内済み。
- ②7月の毎週末に、地区会議が京都で開催される。該当する方は、出欠の確認をお願いする。
- ③7月7日のガバナー公式訪問事前クラブ協議会座席表をお渡しした。
- ④7月14日は、田中誠二ガバナーの公式訪問。12:15には、4階大ホールに着席いただき、ネクタイ着用をお願いする。

福井県内RC例会日

無印:12:30-開始

K:18:30-開始

L:19:00-開始

月曜日	福井東RC(AOSSA)	若狭RC(わかたけまね7-12月14日)	敦賀RC(福井銀行敦賀支店)	金曜日	福井あじさいRC(新川バザール)
火曜日	福井南RC(福井織ビル)	水曜日	福井北RC(サ・グランア・アガ)	木曜日	福井RC(ユアーズホテル福井)
	K 福井エニックスRC(サ・グランア・アガ)		K 丸岡RC(丸岡城のまち3エニックス)		L 福井水仙RC(福井パレスホテル)
	勝山RC(勝山市民活動センター)		大野RC(大野商工会議所会館)		武生府中RC(越前たけふ農協会館)
	武生RC(武生商工会館)		鯖江北RC(神明苑)		L 敦賀西RC(ニューサンピア敦賀)

卓話 越前焼工業協同組合 事務局長 橋本 直視 様

テーマ「日本遺産、日本六古窯、越前焼」



卓話者紹介

孝久 治宏 プログラム委員長

本日の卓話者、橋本直視様は、66歳、越前町在住。旧宮崎村と新越前町職員を経て、現職。越前焼の振興発展に取り組み、中でも私は、アメリカ等、海外との交流・商談会等の事業が印象に残っている。テーマは、「日本遺産、日本六古窯、越前焼」。日本遺産はストーリーを認定するもので、そのタイトルは「きつと恋する六古窯ー日本生まれ日本育ちのやきもの産地ー」1986年に経済産業大臣より、伝統的工芸品に指定された。



越前焼工業協同組合 事務局長

橋本 直視 様

越前焼が日本遺産、日本六古窯の一つとして、備前焼・丹波焼・信楽焼・常滑焼・瀬戸焼とともに全国に知られるようになったのは最近の事だが、越前焼の歴史は古く平安末期より焼き継がれてきた。

産地の証として、越前町(宮崎・織田地区)の山々には、斜面をトンネル状に掘りぬいた全長13メートル前後の大きさの「穴窯」と呼ばれる窯跡が二百期以上、今も残っている。

この穴窯は、東海地方の技術を取り入れた効率の良い窯で壺や甕、すり鉢等を1300度近くの高い温度で焼成したものだ。この頃のやきものは釉薬など使わず、窯の中で燃料の薪の灰が溶けた自然釉が作品に掛かり、とても景色が良いものが出来上がっている。焼きあがった越前焼は、硬くて丈夫なので、主に穀物や水の貯蔵、銭甕などに使われた。この越前焼は室町後期に最も栄え、越前町平等の山の中に多くの窯が集中し、大量の粘土や薪を使い、沢山の陶工たちが働く越前焼の一大産地として栄えた。その頃の窯は、一度に多数の壺や甕を焼くことができるように、大きなものは25メートルにも及ぶ窯を使用していた。

焼成されて完成した沢山の壺や甕は、牛の背中に乗せ船のある越前海岸や市場のある場所へと運ばれた。福井県内だけでなく、北は北海道から南は島根県まで日本海沿岸各地へ船で運ばれ、売られていた。しかし、古い時代には全国で愛用された越前

焼も、明治になると全国各地で新しいやきものが始まり、越前町でも色絵陶器作りが始まったが振るわず、10年後には解散した。その後越前町の窯元は蛸壺、大甕作りを生業に励んだが、需要がなくなり次第に衰微していくことになる。

越前町(旧宮崎村)では、衰微してゆくこの地場産業を何とか復活させようと、「越前焼」を核にした町おこしを目指し、地場産業の育成と越前焼の復興を目的に、昭和43年に「越前陶芸村構想」をたてた。

これにより「見る・作る・使う」をテーマに、約900年の歴史と伝統の作品を展示する陶芸館の資料館をはじめ陶芸教室、茶苑の建設と、12ヘクタールにも及ぶ陶芸公園を中心に、その付近に作家の陶房、やきものの試験機関、宿泊施設、テニスコート、農村グラウンド等を配備したクラフトパークが整備された。また当時、そこで活動し、陶芸家をめざす若者を全国に公募するという、ユニークな発想で計画を進めた。その結果、この構想が脚光を浴び、全国から陶芸家を目指す若者が集まった。またUターンする作家もあり、陶芸村に大きな活力を呼ぶとともに「越前焼」産地復興のきっかけとなった。

今ではこれをきっかけに県内では80軒の窯元が創作活動に励んでいる。このような越前陶芸村を中心の陶芸の里づくりは全国に知られ、年々陶芸村を訪れる人々が増えている。今年で第37回となる5月の最終土・日・月曜日に開催される「越前陶芸まつり」には県内外より約10万人のファンが訪れている。

また、越前陶芸村周辺の地区は、公共施設や主な施設をワインカラーに統一、北陸特有の「切妻の屋根」の民家を保存し、農村環境に配慮した町づくりは、陶芸の里として文化の薫る町そして景観がよく・快適で住みよい街として全国的にも高い評価を受けている。

現在は平成17年に4町村(旧宮崎村・織田町・朝日町・越前町)が合併し新越前町が誕生し「人と技 海土里 織りなす 快適なまち」をスローガンに新しい町づくりがスタートした。

この新町が誇る豊富な海の幸、山の幸、そして豊かな自然と歴史的文化遺産等が多く存在する我が古里を広くPRするとともに、今後歴史とロマンを秘めた魅力ある。私達の町をできるだけ良い形で後世に残すよう努めていきたいと思う。

幹事報告

帰山 明朝 幹事



前回お知らせしたとおり、今年度末をもって、下村会員がご退会されることとなった。昨日ご家族が手紙をもって来られたので、一部抜粋しながら読み上げる。「前略、

この度退会するにあたり、本来なら皆様にご挨拶するべきところ、体調が戻らず失礼します事をお許しください。私は50歳で入会して以来、30年近くRCと共に歩んできた人生でした。たくさん先輩会員、また、皆様方の友情のおかげと感謝のほかございません。楽しい思い出の日々でした。私も今後は仕事を離れ、自宅にて少しでもご恩返しのできる日々を送りたいと思っております。お気軽に、是非ともお立ち寄りください。鯖江RCの益々のご発展と、会員の皆様方の益々のご発展をお祈りいたします。」このお手紙と共に、ささやかな気持ちを同封させていただきましたという事で、お気持ちを頂戴した。相談の結果、ニコニコに半分、最終例会に半分使わせていただく。

まちづくり基金奨励金受賞について2650地区より嬉しいご連絡をいただいた。受賞事業はこの二月に開催した「ロータリー財団100周年記念『国際交流座談会』～みんなで世界平和

について語ろう～」この事業を担当された野中国際奉仕委員長、岡本青少年奉仕委員長にお祝い申し上げるとともに改めて感謝申し上げます。表彰状は、木村ガバナー補佐様より、7月冒頭の例会にて田村会長に伝達される予定。

6月30日、最終例会にも多くのご出席のお返事をいただき感謝申し上げます。会場までの行き帰りは各自、自家用車などで宜しく願います。また、早めに行ってお風呂に入られる方は、会場「べにや」さんには午後2時からチェックイン可能なので、ぜひゆっくりしていただければと思います。

にこにこBOX報告

下村 義孝	会員	お世話になりました。	
田村 康夫	会員	橋本さんの卓話を楽しみに	
帰山 明朝	会員	〃	
窪田 健一	会員	〃	
野呂 和夫	会員	〃	小計 ¥ 30,000
大橋 良史	会員	〃 来週欠席します	累計 ¥ 1,143,000
野中 敏昭	会員	〃 欠席多くすみません	
佐野 直美	会員	〃 やっしまつりのポスターのセンターに載せていただきました。	

ロータリーのお揃いの浴衣袴だと何人もから言われています。